

断熱塗料「ガイナ」に関する基本的な Q&A

ガイナの「製品」に関して

カラーバリエーションは？

ガイナには約 52 色の指定色(日本塗料工業会色見本帳近似色)があります。
それ以外の色をご希望の場合は、日本塗料工業会色見本帳区分 60 番以上の範囲においてお問い合わせください。

ガイナとシスタノン結露の違いは？

ガイナは遮熱・断熱・防音・消臭・防露等様々な効果を持った多機能性の製品ですが、シスタノン結露は防露効果の性能を高めた結露対策専用の製品です。

ガイナと従来品のシスタコートの違いは？

平成 12 年よりメーカーで開発・製造を行っていたのがシスタコートで、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の断熱技術供与を受けてより高性能になったものが新製品ガイナです。(平成 18 年 3 月発売開始)
ガイナは塗装する事により室内のイオンバランスが改善される効果も認められております。

断熱性能は経年変化しますか？

特殊セラミックの性質を利用し断熱効果を発揮しますので、塗膜表面が経年による汚れ等の影響を受けたとしても性能への影響はほとんどありません。

塗装後の臭いは？

臭いの感じ方には個人差がありますが、通常 3~4 日程度でなくなります。
臭気については換気状況も影響してきますので、塗装後は十分な換気を行って下さい。

ガイナ材料の特徴・性能について

どんな物・材料に塗布することが可能？

下地処理材との組み合わせにより、鉄、コンクリート、モルタル、木、非鉄金属、ガラス等ほとんどの材料に塗れます。

塗布できない材質は？

ポリプロピレンの一部、フッ素加工品への塗布は出来ないものがあります。

木部に塗布することは可能？

浸透性がありますので塗れます。

断熱塗料「ガイナ」に関する基本的な Q&A

着色による断熱性能へ影響は？

白色がベストですが、着色でも日本塗料工業会色見本帳の 60 番以上 (近似色、メーカー指定色) であれば殆ど影響はありません。

塗布を 2 回塗で施行する場合、1 回目と 2 回目の色が違って大丈夫？

問題ありません。

既存壁の濃いペンキの上に塗った場合、下地の色は出ない？

塗布厚が規定値なら下地の色は出ません。

紫外線による変色、退色の具合・程度は？

特殊セラミックが塗膜表面をガードする為、一般塗料以下の変化に留まります。財団法人日本塗料検査協会の試験資料があります。

壁の色でよく使用される色は？

ライトグレー、アイボリー、ベージュ、ライトグリーン、白の順です。

屋根の色でよく使用される色は？

ダークグレー、ダークグリーン、白の順です。

透明タイプのガイナは？

ありません。ガイナ本来の色はセラミック色 (白色) です。

グラスウールと比較した場合の断熱効果は？

太陽の直射を遮る能力は一般的建築用グラスウール100mmに相当します。

氷点下での断熱効果は？

氷点下においても十分に効果を発揮します。

塗布した場合、室内が夏に涼しくなるなら、冬は寒くなってしまうのでは？

いいえ、冬は熱源が室内にありますから、それが出て行くのを防ぎます。

ホルムアルデヒド等の有害物質は？

ガイナ組成分の中に厚生労働省指定の有害物質は含んでおりません。

断熱塗料「ガイナ」に関する基本的な Q&A

屋上の防水材として使用する時の注意点は？

防水の主材としては使用できません。塩ビ防水シートなどのトップコートとしての使用をお勧めします。

天井に塗った場合でも、セラミックが表面に出てくる理由は？(浮力の道理に反する)

水分が空气中に放出され乾く過程で、水の毛細管現象により塗膜表面にセラミックが引っ張りだされてきます。

塗布面に傷がついた時、補修は？

補修できます。(ガイナ、又は他のいかなる塗料でも可能です。)

塗り替えを行う年数の目安は？

アクリルシリコン樹脂と特殊セラミックのハイブリッドにより、屋根・外壁で 10～15 年、内壁などで 15～20 年前後を保証している塗装会社が多くあります。

塗り替え時の注意事項は？(シスタコート塗布面を 20 年後に塗り替える場合など)

通常の塗装と全く同じ方法です。

ガイナ施工・工具について

下地処理は？ 下地調整第一の施行をお願いします。

素材は必ずケレン、目粗し、洗浄等を行い、錆、汚れ、藻、カビ等をよく落とし素材にあった下地処理(プライマー、シーラー等)にて処理する必要があります。

特に、コンクリート面は高圧洗浄機による洗浄を、又、鋼板面は錆落とし・清掃を入念に行ってください。

塗装作業に適する道具は？

刷毛、ローラー、コテ、塗装用各種ガン等、工具を選びません。

塗布作業に適する刷毛は？

豚毛のダスター刷毛をお勧めします。

塗布作業に適するローラーは？

中毛ローラー、場合によっては砂骨ローラーをお勧めします。

吹き付け作業に適する塗装機は？

コンプレッサータイプ、エアレスタイプ、なんでも使えますが、温風低圧塗装機をお勧めします。

断熱塗料「ガイナ」に関する基本的な Q&A

吹き付け作業に適するガンは？

リシンガン、聚楽ガン、通常のガンも使えます。

適するガンの口径は？

塗装機の能力により異なりますが通常 2～5 mmを推奨します。(自在ノズルをお勧めします)

材料の調整・攪拌は？

ガイナの缶を開封すると直ぐ塗布できる濃度に調節してありますが、セラミック粒子が上部に浮いてきていますので攪拌機により攪拌する必要があります。

※電動攪拌機にて十分(4～5分程度)攪拌することがポイントです。

希釈材、希釈率は？

ガイナは水性です。

塗布しにくい場合は希釈材として上水を足し、施行しやすい濃度にしてから使用下さい。

希釈率の目安 刷毛・ローラー:0 から 1500cc/缶・ガン吹き:1000～3000cc/缶

性能保持に必要な使用量は？

断熱・防音:30 m²/缶 (原材料) 0.46kg/m² (2回以上)

断熱:35 m²/缶 (原材料) 0.40kg/m² (2回以上)

1回当たりの塗布量の目安は？

1回当たり、0.20～0.23g/m²必ず 2回以上に分けて塗布して下さい。

一度に厚く塗布すると塗膜内部の乾燥が進まず、亀裂の発生するおそれがあります。

仕上がり具合の感じは？

ツヤ消し仕上げになります。ただし、セラミックの持つ独特な豪華な光沢に仕上がります。

セラミック効果を発揮させるためにガイナ塗装の上にコーティングや他の塗料等の上塗りをしてはいけません。

上塗りするとセラミックの効果を失います。

仕上がり模様は付ける事は可能？

既存の柄やお客様のアイデア等、様々な模様を付けられます。

塗布後の乾燥時間は？

天候に左右されますが夏場 2 時間程度、冬場 4 時間程度です。

断熱塗料「ガイナ」に関する基本的な Q&A

使用後の缶の処理は？

高級ペール缶を使用しています。缶に付いたガイナは、ヘラ等でこすると綺麗に取れます。
バケツ、ゴミ箱、小物入れ、工具入れ等アイデアを活かして再利用下さい。

作業上での特別な安全注意点は？

光エネルギーの反射が強いので、濃いめのサングラスを使用して下さい。

汚れたら洗える？

洗えます。(中性洗剤をご使用下さい。)

ガイナ塗布後の刷毛、ローラーを洗浄した水は下水に流しても大丈夫？

無害ですが下水には流せません。凝固材で処理して下さい。

作業中に皮膚に付いたガイナはどうやって取れば良い？

お湯で洗えば取れます。

ガイナ材料価格・工事費用について

1 缶あたりの塗布施工面積は？

施工対象の環境、期待効果で施工されていますが、基本的な期待効果では 35 m²、防音効果などを期待する場合は 30 m²です。

材料の使用可能期間は？

納品後、3ヶ月以内で使い切ってください。

塗り替え時の注意事項は？(ガイナ塗布面を 20 年後に塗り替える時)

通常の塗装と全く同じ方法です。